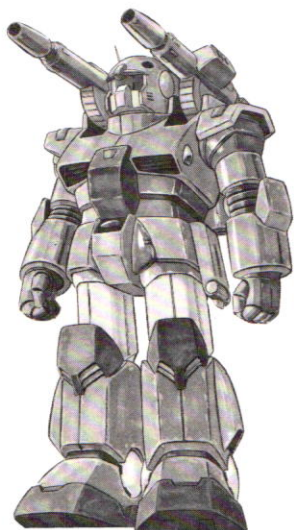


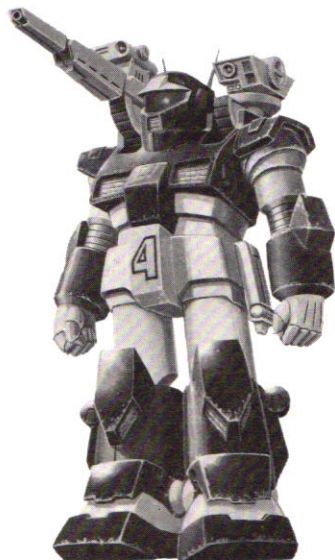
★①②などの数字はデカール(マーク)の番号です。

■RX-77-4 GUNCANNON II

連邦軍はRXタイプモビルスーツの統行研究のため、連携作戦用のみ用途をとどめた中距離支援型RX-77ガンキャノンをもとにして、重装型モビルスーツの開発を別進行の形をとって続行した。ホワイトベースに配備されたRX-77-2に型式番号を連ねるRX-77-3は、単独もしくは同型の部隊編成による作戦行動用として、攻撃能力、ペイロードが強化されている。また実弾の連射性能と給弾能力を改善し、ランドセル自体の出力アップに加え、行動力の拡大化が計られている。これをベースにしてビームキャノン装備型が製作された。これがRX-77-4ガンキャノンIIだ。標準装備として、マガジン装てん式のファイアナッツを持つ。



▲RX-77-3 ガンキャノンII



▲RX-77-4 ガンキャノンII

ジオン軍のザクによる上陸作戦以来、連邦軍のモビルスーツ開発は、陸戦での対モビルスーツ戦を対象を絞った事もあって、MSに対応できるAFVとしてRX-75が開発の第1号となった。それ自体はAFVと何ら変わる物ではなく、およそモビルスーツの原型と呼べる物ではなかった。RX-75の移動力の問題を解決すべく提唱されたのがRX-77とRX-78である。このRX-77と78は、回収されたザクに基づく完全な人間型である。

RX-78は接近戦用として、またRX-77は中距離支援用と用途は分かれているが、コアブロックの共通性によって、全体を一つの多用途モビルスーツと呼ぶこともできる物であった。

実用試験のためサイド7へ運ばれた77タイプは2機、予備として1機分のパーツが用意されたが、母艦となる最新鋭戦艦ホワイトベース級ベガサスの入港当日、ジオンパトロール部隊、3機のザクの奇襲を受け、1機を除いて消失している。しかしながら、連邦軍はRXタイプモビルスーツの続行研究のため、連携作戦用にもみ用途をとどめた中距離支援型RX-77をベースにして重装型モビルスーツの開発を別進行の形をとって続行した。

ホワイトベースに配備されたRX-77-2に型式番号を連ねるRX-77-3は、同型の部隊編成による作戦行動用として攻撃能力、ペイロードを強化されている。また実弾の連射性能と給弾能力が改善され、ランドセル自体の出力アップに加え、行動能力の拡大化が計られている。但し、基本設計以上の負担により増大化する重量は機動性に支障をきたしたのは言うまでもない。

RX-77-3をベースに若干の改良が加えられたRX-77-4が製作されたが実戦には参加できなかった。

連邦軍の簡易量産型モビルスーツとしては、RX-78を基本にRGM-79が製作されたが、本来のRXプロジェクトであるコアを中心としたモビルスーツの多用途変換構想は77タイプをさらに簡略化する事で残っていたのである。

●キットデータ ■商品名/RX-77-4・ガンキャノンII ■スケール 1/144 ■全高/134mm ■価格/500円 ■発売/昭和59年6月 ■ボックスアーティスト/石橋謙一 ■KIT NO. 0501344

MOBILE SUIT VARIATION

RX-77-4 機動戦士
ガンダム
GUNCANNON-II

●RX-77-4 ガンキャノンII



1/144 SCALE モビルスーツバリエーション

BAN
DAI

BANDAI

△ 警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

△ 注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。● 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。● 接着剤は口の中に入れてください。中毒の危険があります。● 接着剤が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い流して、医師に相談してください。● 締めきった室内では使用しないでください。中毒の危険があります。● 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。● 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

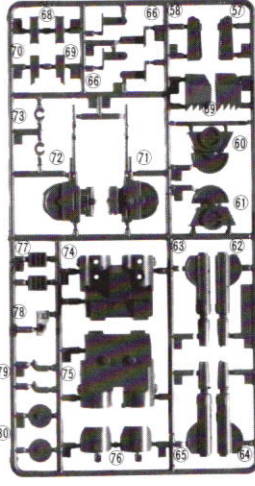
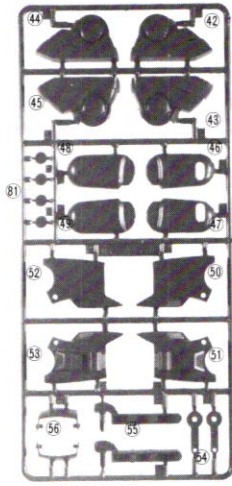
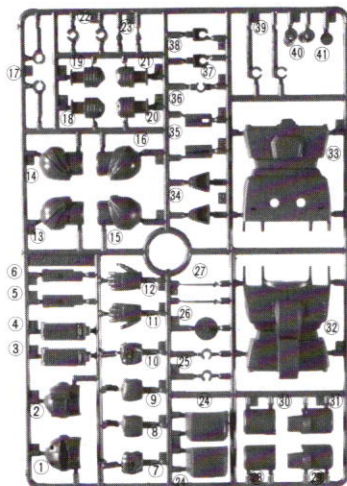
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
 - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
 - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 - 実線の矢印(→)は接着するところ、点線の矢印(---→)は接着しないではめこむところです。接着するところには×印がついています。
- ※このキットは、プラスチックモデル専用接着剤を別に用意ください。

《部品図》 [使用材質] <成形品>(スチロール樹脂:PS)

● デカール

★67は欠番です。

BANDAI



(お買い上げのお客様へ) 万一が一部に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした時は部品通販をご利用ください。代金は、部品代(切り取った1個40円×回数)+送料(120円)です。商品番号/商品名/部品の記号/部品番号/数量を明記して頂き、部品注文カード(部品注文カードのコピー、手書き可)、部品代+送料の料金(100円単位を定額小切額、100円未満を切り)と共に封書にてお送りください(封書の裏に必ずお客様の氏名/住所/年齢をお書きください)。送料は実際に部品をご用いた際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求超過分は送料をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様の責任となります。在庫がない場合は申し訳ございませんがご注文をお返します。ご購入頂きました個人情報はお客様の責任でご利用させていただきます。在庫がない場合は申し訳ございません。ご注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくはhttp://bandai-hobby.net/SC/20071101post_55.html「部品注文のしかた」をご参照ください。通信販売はお客様の責任となります。お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返金は受け付けておりませんので予めご了承ください。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12 TEL054-208-7520

● 部品の価格および送料は変更する場合があります。部品代には、消費税が含まれています。郵送料が改訂された場合は新料金が適用されます。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード

01344

機動戦士ガンダム MSV 1/144 ガンキャノン II

必要な部品の記号・番号・数量を書く

● 注文された理由 (○で囲む)(こわした・なくした)

・日中ご連絡可能な電話番号

R1001344 () '84.05

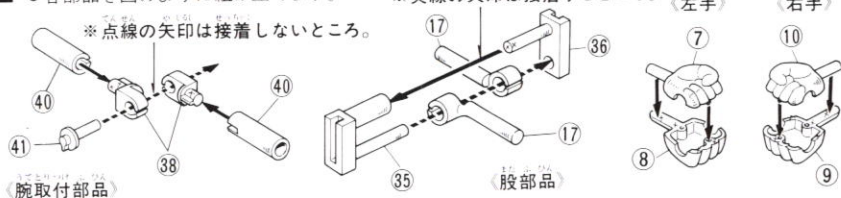
1

●各部品を図のように組み立てます。

※実線の矢印は接着するところ。 (左手)

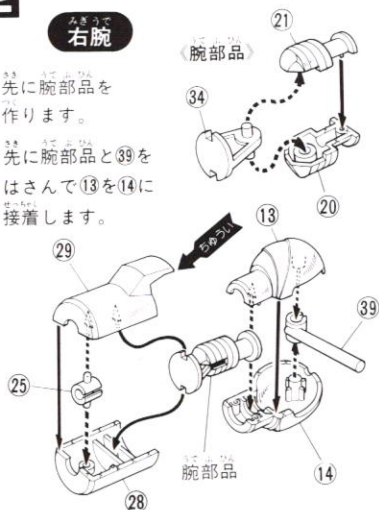
(右手)

※点線の矢印は接着しないところ。

**2**

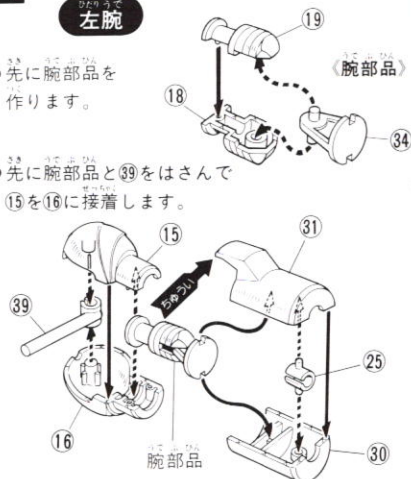
みぎうで
右腕

- 先に腕部品を作ります。
- 先に腕部品と③9をはさんで⑬を⑭に接着します。

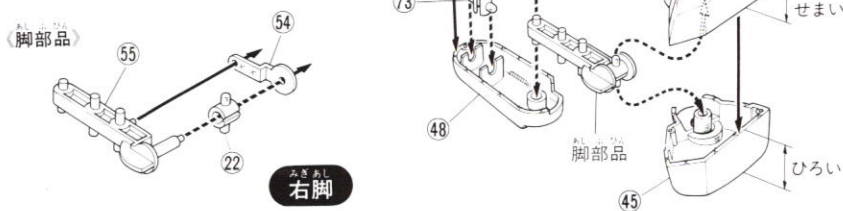
**3**

ひだりうで
左腕

- 先に腕部品を作ります。
- 先に腕部品と③9をはさんで⑮を⑯に接着します。

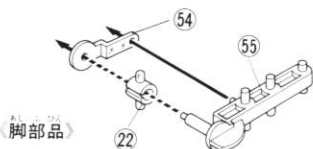
**4**

- 先に脚部品を作ります。
- 脚部品と⑦3をはさんで、④6を④8に接着します。

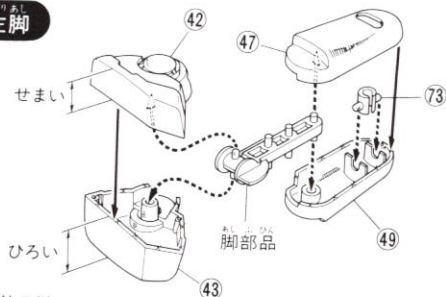


5 ●先に脚部品を作ります。

- 脚部品と⑦③をはさんで、④⑦を④⑨に接着します。

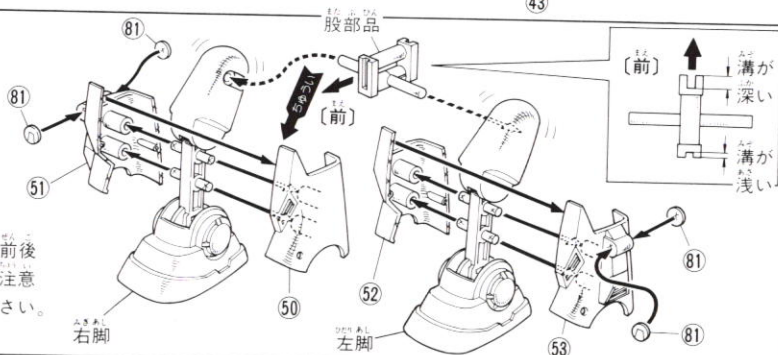


左脚



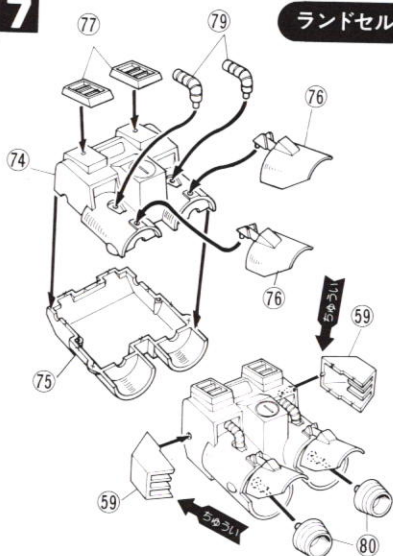
6

- 股部品は前後の向きに注意してください。



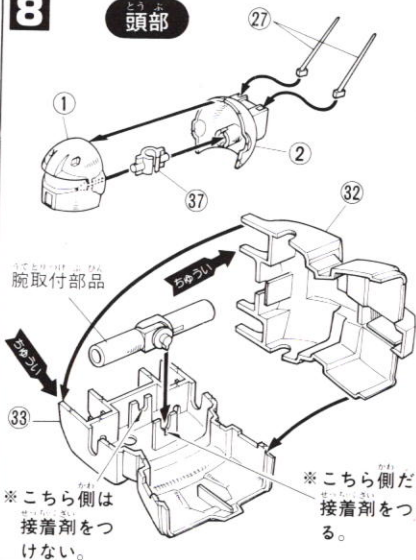
7

ランドセル



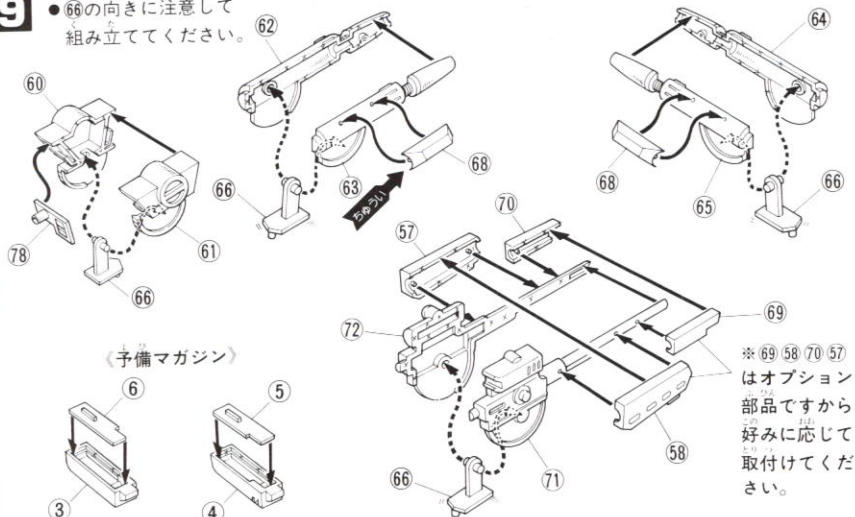
8

頭部



9

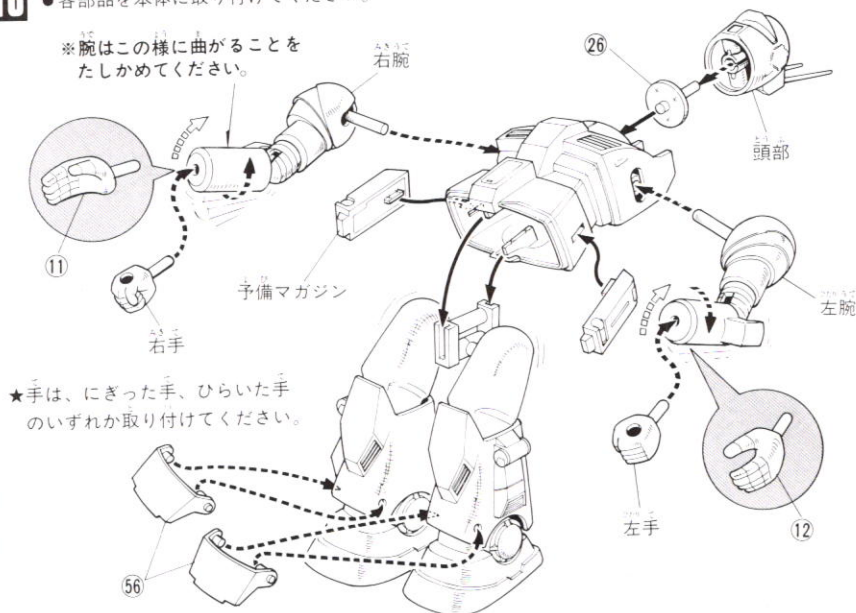
●66の向きに注意して組み立ててください。



10

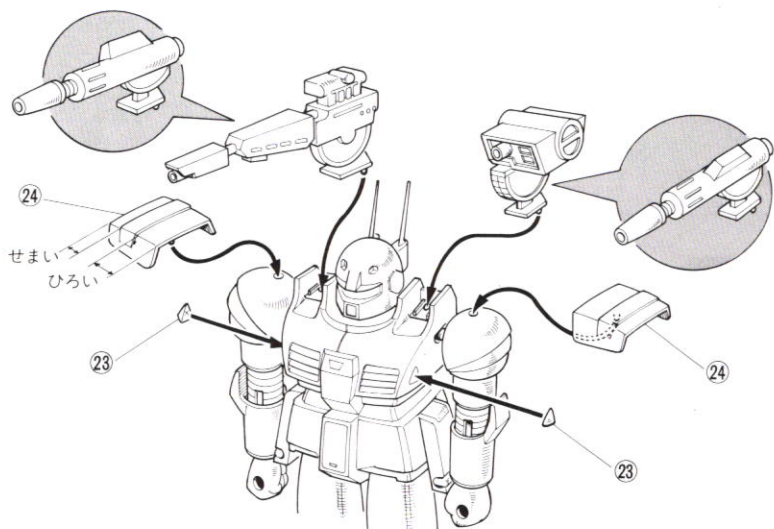
●各部品を本体に取り付けてください。

※腕はこの様に曲がることをたしかめてください。



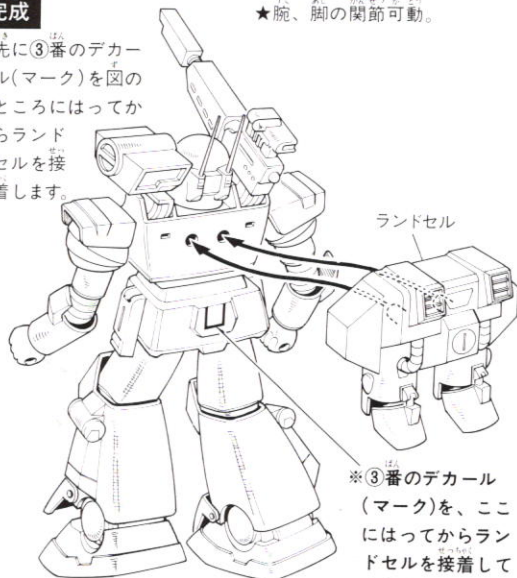
11

●24は巾の広い方を内側にして接着してください。武器は好きなものを接着してください。



完成

●先に③番のデカール(マーク)を図のところにはってからランドセルを接着します。



★腕、脚の関節可動。

※③番のデカール(マーク)を、ここにはってからランドセルを接着してください。

塗装とマーキングについて

★塗装の色分け及びデカール(マーク)を貼る位置については、付属の「メカニカル・ファイル」に表示してありますのでご覧ください。

デカールの貼りかた

1. デカール(マーク)を貼るところの汚れ、油気を、ぬらした布でよくふきとってください。
2. 貼りたいデカールをハサミで切り取り、貼るところを確かめてから、水に5秒~10秒ほどつけて引き上げます。
3. デカールを台紙からずらしながら貼ります。
4. やわらかく、水気をよく吸う布でデカールをそっと押し内側の気泡を押し出ししながら水分をとります。
5. 貼ったあとはデカールが乾くまでさわらないでください。
6. デカールが完全に乾いたら、もう一度水でぬらした布でかるくデカールの部分をふいて、余分なりをふきとります。